

東京大学と博報堂が共同で、東京大学「知の構造化センター」に 「ソーシャルイノベーション部会」を開設、活動を開始

東京大学（東京都文京区：総長 小宮山 宏）と 博報堂（東京都港区：代表取締役社長 成田 純治）は、このたび共同で、東京大学「知の構造化センター」に「ソーシャルイノベーション部会」を開設し、この6月から本格的な活動を開始しましたのでお知らせいたします。

「ソーシャルイノベーション部会」は、東京大学「知の構造化センター」（センター長：松本 洋一郎 工学系研究科）に東京大学と博報堂の共同で開設されたもので、様々な分野の企業の参加を募りながら、これからの社会課題とその解決策としてのイノベーションの方向を提示していこうとするものです。

資源・エネルギー、地球温暖化、食料、少子高齢化、労働力、地域活性化、など様々な社会課題が、単なる個別課題から相互に密接に関係しあう状況下、こうした諸課題と社会や企業の成長との関係も切り離せなくなってきました。

「ソーシャルイノベーション部会」では、こうした未来の社会（地球）シナリオとそれに基づく社会課題を洞察した上で、それぞれが自立・分散している個別の先端知の構造化（連携）を図り、課題解決のイノベーションの方向性を導き出すことを目的としております。

具体的には、堀井秀之教授（大学院工学系研究科）を中心に、吉見俊哉教授（大学院情報学環）、清水剛准教授（大学院総合文化研究科）、松尾豊准教授（大学院工学研究科）と博報堂が主体となり、様々な分野の企業の参加を募り、これに東京大学、マサチューセッツ工科大学（アメリカ）、アムステルダム大学（オランダ）の学生の参加を得ることで、グローバルな視点も入れながら、大学が蓄積してきた「知」と博報堂及び企業が実践してきた「ソリューションナレッジ」を連携させ、イノベーションの方向性を導き出してまいります。

そして、このように産学が連携して、社会、企業、生活にわたる 이슈（課題）を抽出し、その課題を掘り下げることにより、未来社会において共通する本質的な課題（テーマ）から、社会、企業で共有しうる解決のメカニズムを導き出していけるのではないかと考えております。得られた成果については、社会に向けた提言という形で適時発表するとともに、具体的なソリューションの実践につなげながら、社会、企業の成長に貢献することを目指してまいります。

東京大学「知の構造化センター・ソーシャルイノベーション部会」概要

- ・企画： 堀井秀之副センター長、博報堂
- ・参画教員： 堀井秀之教授（大学院工学系研究科）
吉見俊哉教授（大学院情報学環）
清水剛准教授（大学院総合文化研究科）
松尾豊准教授（大学院工学系研究科）
- ・参加企業： 未定
- ・参加大学： 東京大学、マサチューセッツ工科大学、アムステルダム大学
- ・運営： 博報堂イノベーション・ラボ/MD 戦略推進局
- ・場所： HAKUHODO UNIV.内
- ・成果： マスコミ発表、学術論文や学会への発表、レポート書籍の執筆、HP で紹介

「東京大学 知の構造化センター」

自律分散的に創造される膨大な知識を構造化し、現実の価値に結びつけることを目的とし、2007年6月に設立したこれまでの大学にはない、学際的、横断的研究機関。

知の構造化センターにおいては、文理、医工協働により、新しい知的価値、経済的価値、社会的価値、文化的価値の創出を目指し、知の構造化の方法論を確立するとともに、成果を速やかに実装することで、知の構造化の具現化を推進する。

（センター長：松本洋一郎教授、副センター長：堀井秀之教授、吉見俊哉教授）

「博報堂イノベーション・ラボ」

従来型のマーケティング・コミュニケーション課題の解決に加えて、より大きな経営テーマである「イノベーションの実現」「価値創造戦略」が求められるようなる中、博報堂は、「イノベーション創発パートナー」という大きな役割を担ってゆくために、2008年4月にこれまでの未来洞察の専門チーム（博報堂フォーサイト）とイノベーション研究チームを統合し、発足させました。博報堂イノベーション・ラボは、「イノベーション創発」のための、革新的なアイデアの発見（調査研究）から、ビジネス・コンセプトの立案（戦略化）と、その実践（コミュニケーション活動）までのイニシアティブを執る専門集団です。博報堂イノベーション・ラボでは、研究活動を「社会に開かれたソリューション」と捉え、得意先企業はもちろんのこと、国内外の大学やシンクタンク、政府や自治体など、広くイノベーションの実現を志向する皆様との協働を進めていきたいと考えております。

（部長：栗田 恵吾）

HAKUHODO UNIV. について

2005年4月に設立された、企業内大学。競争力の最大の源泉である社員の能力を一層向上させ、戦略的にプロフェッショナルを育成することを目的に設立された。単なる基礎的な能力研修だけではなく、新しい生活者像の提案の研究までさまざまなレベル・手法で社員の「構想力」の強化を行っている。

本件に関するお問い合わせ

東京大学「知の構造化センター」	堀井秀之	Tel 03-5841-6090
博報堂 広報室	西尾・大野	Tel 03-6441-6161
博報堂イノベーション・ラボ	栗田	Tel 03-6441-8647